

健康維持増進住宅の研究について

健康維持増進住宅の研究

少子高齢化社会の
進展

地球環境問題の
深刻化

住宅産業を取り巻く
環境の変化

生涯健康・生涯現役社会の実現
アクティブエイジング

物質信奉文明の克服・脱物質化
新しい価値観の創造

量から質へ・フローからストックへ
住宅市場の改革と活性化

人間は人生の大半を住宅の中で過ごす

食事・調理

睡眠・休息

団らん

育児・教育

学習・労働

運動

コミュニケーション

モビリティ

キーワード:健康

多様な活動を支える居住環境の計画

「健康負荷の削減」と「健康環境品質の向上」に向けて

生涯健康、生涯現役社会を実現するための新しい住宅／地域モデルの開発

QOL(Quality of Life)の向上による肉体／精神／社会の活性化

健康維持増進住宅の要素(考えられる例)

健康負荷の原因となる各種の影響要因

空気環境の問題

- ・化学物質汚染
- ・生物汚染
- ・ハウスダストによる汚染
- ・窒素酸化物による汚染

熱環境の問題

- ・室内温度差や室内外温度差によるヒートショック
- ・浴室や脱衣室の不適正な温度

湿気の問題

- ・過乾燥
- ・高湿度
- ・結露

家庭内における不慮の事故

その他

- ・高層居住による問題
- ・音環境や振動の問題
- ・電磁波の問題

健康増進住宅の要素技術の開発

空気環境

- ・木材の健康増進効果
- ・清浄空気装置
- ・自然換気システム

冷暖房・浴室

- ・床暖房、放射冷房
- ・超薄型断熱
- ・浴室システム

快眠・食

- ・室内環境と睡眠
- ・団欒

生活

- ・ペット
- ・介護、医療

子供

- ・健やかに育つ子供
- ・子供の学習環境

健康維持増進住宅の研究の進め方

○今年度の検討を踏まえ、**来年度・再来年度に研究を継続し、平成21年度末に成果を得る。**

健康維持増進住宅研究委員会 検討フロー

